

東京金山会通信

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山 ☎080-5525-0435



▲ふるさとを語る集いで花笠音頭を楽しむ出席者

No.85

東京金山会第67回総会 「ふるさとを語る集い」開催

今年度も「東京金山会総会」ならびに「ふるさとを語る集い」を開催します。昨年の第66回総会は、おかげさまで大変な盛会となり、会場には皆様の笑顔と活気があふれる一日となりました。本年も、皆様の心に刻まれるひとときとなるよう、役員一同、現在鋭意準備を進めています。首都圏にお住まいのご家族やご友人、同窓の皆さまにも、ぜひお声がけいただき、より多くの方にご参加いただけたら幸いです。

【日時】 6月21日(日)
11時10分～14時
（一部総会、2部懇親会）
【会場】 アートホテル日暮里ラングウッド
※JR山手線日暮里駅南口2分

▼**國分さえ子**（リイさん）（沖縄二線）
島根県隠岐の島町のご出身。沖縄三線喜納流二代目家元長間たかをに師事。喜納流アヤマ会優秀賞を受賞。令和6年奄美大島島唄コンクール出演。令和5年に金山町歴史館でのライブ「奄美一ず」へ出演されました。「島唄」とともに、前回も大盛況をいただいた「花笠音頭」を皆様にお届けします。

▼**永山茂樹さん**（金山町）
歌とともに歩んで50年「望郷の詩」や「ふるさと金山炎華ばやし」など、郷土・金山への想いを込めた数々の名曲を世に送り出してこられました。毎年、その素晴らしいステージで私たちを魅了してくださっています。

▼**和田タカ子さん**（オペラ・声楽家）
「オペラ彩」代表。埼玉県和光市を中心に、気鋭のプロ奏者によるオーケストラを導入した、本格的なブランドオペラ公演を40年以上にわたリ主宰。オペラを通じた文化の振興に尽力されています。今回のステージでは、その圧倒的な歌声を皆様にお届けします。

2部懇親会ゲストのご紹介

図書室だよ



◀新刊本情報はこちら

今月のおすすめの2冊はこちら

Yes!左きき

とんだばやしロング/JTBパブリッシング

ほとんどは右利き仕様の社会で、道具の使い方を工夫したり、みんなとの違いを感じることもある左利きさん。それは困りごとではなく、特別な感覚。著書は「左利きあるある」を面白い絵で紹介！読み終わったら世界がちょっと変わって見えるかも？



熟柿

佐藤正午/KADOKAWA

眠る夫を乗せた車で人を撥ねたかおりは、轢き逃げの罪に問われる。服役中に息子を出産し、生後間もなく引き離されてしまった。息子への想いはどうしても断ちがたく、出所後も騒動を起こし追われるように各地を流れ行く。罪を隠し生きる彼女はこれからどうなるのか。



※（ ）内作者名

◀今月は13冊▶

探偵小石は恋しない(森バジル) / イン・ザ・メガチャーチ(朝井リョウ) / 失われた貌(櫻田智也) / 熟柿(佐藤正午) / 花魁仕置人 藤紫(家田荘子) / デコピンのとくべつないちにち(大谷翔平) / キリンリンリン(アリムラモハ) / Yes!左きき(とんだばやしロング) / 暮らしの彩り折り紙一切らずに1枚で折る(フチモトムネジ) / 動画と写真で分かる かぎ針編みのモチーフ小物(西東社編集部) / 食パン革命 サクッとかんたんアレンジレシピ100(バタ子ママ) / 難聴のお悩み解決法(坂田英明) / アフター・ユー(一穂ミチ)

感謝と決意のラストイヤー



◀日々の活動の様子は Instagramで発信中です



地域おこし協力隊 **大友 淳**

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の大友淳です。山形県金山町とご縁ができた地域おこし協力隊として歩み始めてから、早いもので3度目の春を迎えました。活動の拠点としてきたのは、神室山のふもとに広がる「グリーンバレー神室」一帯です。四季折々の表情を見せる豊かな自然、そして温かい町の人々に支えられ、気づけばこの場所が私にとってかけがえのない「ホーム」になっていました。

協力隊としての任期は最長3年。私にとって今年が、まさにその集大成となる最後の1年です。振り返れば、1年目は右も左も分からず、ただ必死に地域の皆さんの顔と名前を覚え、神室の魅力を自分なりに探す日々でした。2年目は、少しずつ見えてきた課題に対し、体験型観光の企画や情報発信など、自ら動いて形にする面白さと難しさを学びました。そして迎えた3年目。今、私の胸にあるのは、これまで生きてきた種をしっかりと咲かせたいという強い決意です。グリーンバレー神室は、スキー場やキャンプ場、温泉施設が一体となった、金山町が誇る宝物です。しかし、そのポテンシャルを最大限に引き出すためには、まだやれることが沢山あります。「またここに来たい」と思ってください。ファンを一人でも増やすこと、そして



▲遠くに山小屋を望む神室山の尾根

何より、この場所が町の人々にとってより誇らしい場所であり続けること。それが、私がこの2年間で確信した活動の芯の部分です。

この1年は、これまでお世話になった方々への「恩返し」の年でもあります。時には厳しく、時には親身に寄り添ってくれた地域の皆さんとともに、最後の一日まで走り抜けます。任期が終わるその時に、「この3年間、金山に来て本当によかった」と心から笑えるように。そして、私の活動が少しでもこの美しい町の未来に繋がる一助となるよう、神室の風を感じながら、最後まで全力で駆けつけていきたいと思っています。

ぶんげい

金山杉俳句会 第五〇回

春浅き野辺に摘む草愛しゆり
木の芽時競ひて明ゆる露の臺
阿部 一代(十日町)

ものの芽の順番決めて風過る
笑みやさし雛の顔を飽かず見て
星川 キエ子(山崎)

日々毎に木々の緑が鮮かに
芽を含む木々ひようひよう風揺れ
岸 昭子(山崎)

池の面に薄氷張りて鯉の影
土手歩く川のはとりにねこやなぎ
高橋 洋子(中田)

生きてゐる証と思ひ雛飾る
啓塾やわずかな土に鶏遊ぶ
鶴沼 よし子(十日町)

珈琲が窓を曇らす薄霞
夕月を上げて鎮もる花の冷え
栗田 弥超(石巻市)

かねやま紅風会

青山に切立望む出羽の富士
最北の出羽の山郷花盛り
みちのくや花見桜の同期会
阿部 勝子(荒屋)

あさつきや春一番の香りかな
町に能惜まわながら栗の木切る
酷夏の厳しさをまえ種選ぶ
関 喜美子(荒屋)

里山も春一番の白辛夷
忙そいと来客拝む春彼岸
春光や出羽の鳥海浮いて立つ
庄司 けみ子(菅越)

古の雛を忍ぶる奥座敷
雪解の水増し濁る最上川
山芽吹く旅の誘ひや桜咲く
青柳 キエ子(七日町)

出羽の里一足遅々の桜咲く
雪解川岸辺を叩く猫柳
伏す妻の手足を擦る春四月
阿部 一步(上台)